



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 045-893-4877 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 272 号

(創刊 1988 .12.14)

2012.05.06.

国土交通省への申入れ

本年度は南線の都市計画決定（平成 7 年）後 10 年目の第一回（平成 16 年度）、15 年目の第二回（平成 21 年度）に続いて第三回の事業評価監視委員会が開かれ、南線の事業継続か中止かを決めることになっている。

4 月 24 日、連協では会長ほか 4 名が国交省関東地方整備局を訪れ、委員会の事務局である企画課の担当官 3 名と話し合い、住民の要求と要望を申し入れた。

事業評価監視委員会は法律に基づいて設置され、学識経験者 12 名から成る第三者機関である。従って審議に当たっては事業者の意見だけでなく、住民の意見も同じように聞くべきであり、このことを強く申し入れた。

また、今までは住民は委員会を傍聴できず、テレビモニターだけでしか見られなかったが、南線建設で最も大きな影響を受けるのは住民であり、その意味で今回は住民代表が委員会に出席して傍聴出来るようにと申入れ、この要望を委員長に伝えて貰うこととし、この件については今後粘り強く要求していくつもりである。

次回の住民訴訟は 5/14

昨年 8 月 2 日に横浜地裁に提訴した「やらせアンケート」を糾弾する住民訴訟は連協を代表する原告 4 人と被告横浜市長の代理人との間で準備書面を通して厳しく行われている。

来る 5 月 14 日 10:30 に横浜地裁第 502 号法廷にて第 4 回の口頭弁論が行われる。いかに住民の関心が大きいかを示すため大勢の方の傍聴をお願いします。上述のように次回の事業評価監視委員会に対して事業者側がこの間違ったアンケート結果をもって「住民がこのようにこの事業の推進を求めている」との要請を阻止するものである。（法都計部）

公害調停の報告について

横環南計画に対する環境影響評価の手法に関するもので、平地にしか適用できない旧態依然な方法に固執する事業者側と、現地の複雑な地形が考慮できる近代的な方法を用いるべきと主張する連協を代表する申請人 5 人との紛争が調停のポイントである。

昨年 10 月 25 日にスタートし今回は 5 月 21 日に実質的な文書による意見交換を中心に第 5 回の調停が行われる。しかし調停は法的に非公開で傍聴は認められていないので逐次経過をニュースで報告する。（申請人）

第 37 回公害総行動が 6/5 に

恒例の公害総行動が今年は 6 月 5 日（火）に日比谷公会堂を中心に行われる。道路全国連では全国から連協も含めて道路問題関係者が集合し国土交通省に要請書を提出し直接その場で回答を迫る。今年は全国でも道路問題の中心である東京外環と横環南が主役となる。国交省の役人と直接話合う機会となるので多くの人が参加されるようご案内します。

（比留間会長）

対外活動報告

- 4/15 かながわ大気汚染・道路公害連絡会
- 4/24 関東地方整備局（さいたま新都心）打合せ（4 名）
- 4/25 新橋法律事務所 相談（2 名）
- 4/26 大気汚染公害被害者新救済制度創設神奈川県相談会（神奈川救済懇）1 名参加
 - ・横浜市役所前にて宣伝行動（横断幕表示、ビラ配布）
 - ・第 14 回相談会
- 4/30 横浜中央図書館 調査（2 名）
- 5/1 神奈川県庁 情報公開申請（1 名）

特集（1）：ぜん息問題を考える

横浜市内の小児ぜん息患者は 2万人！これが横浜市の実態だ

○神奈川県教育委員会の22年度学童保健調査によれば、横浜市内小中学校生徒のぜん息児童は2万人もいます。

表1. 横浜市内の小中学校のぜん息児童数

	在籍数 (人)	ぜん息被患 率 (%)	被患者数 (人) 注：換算値
小学校	192,485	7.92	15,245
中学校	77,012	5.85	4,505

○小学校男子の被患率は、工場地帯でない港南区、保土ヶ谷区、旭区、瀬谷区などでも被患率は高い。

ぜん息は、今や工場からの排ガスではなく自動車排ガスが主な原因と言われており如実にこれを示していると言えます。

表2. 横浜市内小学校の区別ぜん息被患率 (%)

	男	女	計
鶴見区	8.66	5.89	7.3
神奈川区	11.57	7.44	9.53
西区	9.81	7.16	8.54
中区	9.22	5.96	7.67
南区	9.34	6.41	7.92
港南区	10.33	6.25	8.33
保土ヶ谷区	10.2	6.25	8.29
旭区	10.85	6.12	8.55
磯子区	12.31	8.79	10.58
金沢区	9.25	5.59	7.48
港北区	9.91	6.64	8.32
緑区	8.44	5.16	6.82
青葉区	7.53	4.91	6.25
都筑区	9.76	6.33	8.09
戸塚区	9.57	5.95	7.81
栄区	8.28	5.39	6.92
泉区	8.68	5.7	7.21
瀬谷区	11.24	6.72	9.04
市合計	9.61	6.14	7.92

○驚くべきことに、小学校男子の被患率20%以上の学校が8校もある！

一番高いのは旭区の川井小であり、16号線・保土ヶ谷バイパス沿線であることは注目される。

表3. 男子でぜん息被患率20%以上の小学校

区	学校	ぜん息被患率 (%)		
		男	女	計
鶴見区	岸谷	20.81	14.1	17.63
神奈川区	二谷	23.6	12.42	18.01
〃	白幡	20.76	10.4	15.94
〃	西寺尾	23.94	12.86	18.44
旭区	川井	24.73	14.88	20
磯子区	滝頭	24.54	20.88	22.71
〃	浜	20.57	16.32	18.36
瀬谷区	瀬谷第二	21.53	13.68	17.24

○横環南線が出来ると沿線児童のぜん息被患率がどうなっていくのか？心配されます。

栄区の小学校平均は、横浜市平均値より低い。しかし、平均値より高い庄戸、千秀学区はそれぞれ横浜横須賀道路、国道一号線近傍である。

表4. 栄区小学校ぜん息被患率 (%)

	ぜん息被患率 (%)		
小学校	男	女	計
豊田	8.81	4.84	6.92
本郷	7.16	4.62	6.01
西本郷	7	5.13	6.11
千秀	11.5	6.25	9.33
飯島	11.66	6.52	9.2
桂台	4.59	5.58	5.06
本郷台	9.54	3.74	6.59
上郷	7.67	5.54	6.63
小菅ヶ谷	9.77	6.2	8.03
公田	6	6.25	6.11
庄戸	11.21	6.13	9.11
小山台	6.94	4.49	5.59
笠間	5.01	5.21	5.11
桜井	8.68	5.49	7.23

【注】県の調査データは、平成22年7月1日現在で、校医又は医師等により診断が確定し、治療や検診を受けている者（現に疾病にかかっている者）の人数を「被患者」として集計したもの

(長谷川事務局長)

(特集(2)は次号掲載予定)